

女性技術者からひとこと

(株) 復建技術コンサルタント
渡辺 理恵

「ん～マンマ・・・」1歳5ヶ月の息子の起床である。“あっ起きてくれた。また今日も一日が始まった～急がないと”という具合にあわただしい一日が始まる。息子は、起きたらすぐに朝食を食べる。本当に起きてすぐに食べるので、“よく食べられるな～”と少し感心する。そのため、起きたときに朝食が用意されていないと機嫌が悪い。そうなると朝の準備がいつにもまして大変になるので、息子の機嫌をそこなわないようにいつも朝食の用意は万全（かなり手抜き！）にする。と書いたものの、これが結構大変なのだ。“朝”という短い時間の中にやらなければならないことがたくさんあって、その中に省けるものは一つもない。それなのに、子供の調子が悪かったり、機嫌が悪かったりするとますます大変でハードな朝（朝からかなり疲れきっている）になる。朝から牛乳をこぼされ、床の拭き掃除なんてこともよくある。（泣）やっとな準備をし、登園・出社をし、それから会社での一日が始まる。

1年ぶりに復帰して約半年になる。よく半年がんばれたな～というのが本音。1年ぶりの復帰で最初は少し戸惑うこともあったりしたが、会社での仕事や生活には意外と早く慣れる事ができた。が、子供がいると以前のように仕事ができないのが実状である。保育園のお迎えのため（6時までにお迎え）普通の日残業はできない。また、子供の発熱で急な保育園からの電話での呼び出しがあり、仕事が途中で迎えに行かなければならない。子供の定期的な通院のため、1時間早退も何度もある。保育園の保護者懇

談会、予防接種などで、子供が健康でも会社を休まなければならないときもある。子供の病気が移って私がダウンしたり旦那がダウンしたりと、この半年の間にたくさんの苦しいことがたくさんあった。今、書きながら半年を振り返りよく乗り越えられたな～と自分でも思う。もちろん私一人で乗り切ったわけではない。会社の上司や、一緒に仕事を組んでいる先輩の大きな理解と協力があったし、旦那にもたくさん助けてもらいながらの半年だった。

大変だけが子育てではなく、楽しいこと・うれしいこと・おもわず笑っちゃうこと・ほんわかした気持ちになれること etc・・・たくさんのことが経験できた。子育てを通して、自分が精神的に大人になりきれてないな～となんども思い知らされたり、こんながんばってもどうしようもないことがあるんだな～と実感したり。こんな経験をして、仕事に対して以前よりは前向きに考えられるようになった。

復帰してみて社会制度に対してたくさん不満をもつようになった。不満というより、お願いだからもう少しワーキングマザーのことを考えて～という叫びである。ひとつは病院が土日にも普通にやっていると子供の通院は会社が休みの土日になってしまうが、土曜日の午前中で診察は終わりという病院がほとんどで、病院をはしごしなければならないときは土曜日にも早起きをして、病院めぐりをしなくてはいけない。これだけで土曜日はほと

んど終わってしまう。また、有給との戦いも切実である。復帰して半年で有給を半分以上使ってしまった。これから半年有給が足りるのか、かなり心細い……。介護休暇が認められているなら、看病休暇もどうか認めてください！！（5日でも休暇が増えると本当にありがたい）それと、うちの会社の有給は午前休・午後休・一日休の3種類である。午前休・午後休ではなく、時間休にしてほしい。そうすれば有給の減りも少なくなるのに……。午後3時頃の保育園からの電話、午後休をとるか、2時間早退を出すか本当に迷うのである。今までの早退分は一括してボーナスからの天引きとなる。一体どれくらい引かれるのだろうか

か？こちらのほうも少し心配である。（笑）

こんな私たちを見ながら、息子はどんな風に育ってくれるのだろうか？楽しみでもあり、恐怖でもある。“子は親の背中を見て育つ” あーなんていやなことわざ。かなりのプレッシャーである。私たちがどう感じているのだろうか？子供なりにも不満がたくさんあるんだろうな～？もしかしたら、応援してくれてたりして！！“親がなくても子は育つ”なんていうことわざもあるくらいだから、よけいな心配はしないことにしよう。

これからも働くママはがんばらねば！！

